

日本における精神障害者を対象としたホームヘルプ制度の歴史

立命館大学大学院 佐草智久

立命館大学大学院／日本学術振興会特別研究員 桐原尚之

□ Introduction(はじめに)

本報告では2000年代の日本における精神障害者を対象としたホームヘルプサービスの歴史について明らかにする。その際、1999年に試行的事業として実施され2002年に本制度として開始された精神障害者ホームヘルパー制度が、2006年に障害者自立支援法における居宅介護・行動援護サービスに吸収される際の歴史的連続性・非連続性に着目した。

日本国内において韓国のホームヘルプ制度に関する研究は、2008年に韓国においても介護保険制度がスタートしたことをきっかけに、注目されるようになった。しかし、先行研究の多くが高齢者を対象としたものであり、障害者の介護制度は十分に為されているとは言えない。特に精神障害者分野では、日本国内においても殆ど研究がなされていない。この領域では昨今、地域移行型病床をめぐる議論が注目を集めている。地域生活に対する支援の中心的役割を期待されるホームヘルパー制度の歴史を海外に発信することは、日本の精神障害者政策を発信し、また自己批判する事が可能であり、今後の施策の方向性を検討する上でも貴重な研究蓄積となり得る。

□ Method(目的と方法)

本報告の目的は、日本における精神障害者を対象としたホームヘルプ制度の歴史を整理・検討する事である。方法は文献資料の分析を中心に行った。文献資料には厚生労働白書などの政府刊行物、全国精神障害者家族連合会などの各関係団体の資料、1999年の試行的事業として実施されていた際・2006年の障害者自立支援法施行時点での各テキストを用いた。

それらから明らかになったことを通して今後の精神障害者福祉政策の方向性や精神障害者の地域生活のなかでの、ホームヘルプサービス並びにその担い手となるヘルパーが果たすべき役割について検討する。

□ Research(調査結果)

■ 制度変遷の年表

年月日	事由
1993年8月9日	細川護熙(ほそかわ・もりひろ)内閣発足 →「施設」から「地域」へ、国民福祉税構想
1993年12月	障害者基本法成立→精神障害者も対象になる
1994年8月10日	公衆衛生審議会「当面の精神保健対策について」で、社会復帰施設から地域社会への方向性が示される
1995年12月18日	障害者施策推進本部「障害者プラン—ノーマライゼーション7カ年戦略」 →精神障害者の特性配慮、マンパワーとしてヘルパーが記述される 「ホームヘルパーの充実」が政策目標に(しかし、精神障害者は対象外) —これまでの間、衆参両院にて社会復帰施設拡充の立ち後れが度々指摘される—
1997年11月19日	参議院行財政改革・税制等に関する特別委員会 →西山登紀子議員(当時)がヘルパー制度の不備について言及 在宅精神障害者75万人の存在・精神障害者の対象化の要望の必要性にも触れる
1998年12月7日	公衆衛生審議会精神衛生福祉部会「精神保健福祉法に関する専門委員会報告書」 →他の障害者施策と遜色のないものにしていく必要を提言
1999年1月14日	公衆衛生審議会精神保健福祉部会「今後の精神保健福祉施策について」 →精神障害者訪問介護事業(ホームヘルプサービス)の提言
2002年	試行事業の実施 精神保健福祉法改正 →事業に精神障害者訪問介護事業(ホームヘルプサービス)の提言が新設
2003年～	東京(「こらーる・たいとう」、「あけぼの会」などで利用者ネットワーク)、大阪(精神障害者支援の会HITで精神障害者がヘルパーになるピアヘルパーを実施)
2005年10月	障害者自立支援法の成立 →三障害統合により「居宅介護」、「行動援護」などに引き継がれる →将来的には介護保険に統合する方向の確認

□ Discussion(考察)

精神障害者訪問介護事業は、細川内閣以降「施設から地域」路線が推し進められものの、その中核を担っていた社会復帰施設等の整備の立ち後れが顕著になっていたこと、障害福祉行政が障害者の範囲に精神障害者を入れたことに伴い浮上した「他障害と同等のサービスへの底上げ」、それから精神障害者福祉を提言してきた民間アクターである「全国精神障害者家族会連合会保健福祉研究所の提言」の4つの要素によって、成立したものである。

当初のスタイルは、「通院患者の服薬管理」「見守り」といった治療継続の補助、逸脱行動の防止的な色彩が強かった。しかし、自立支援法以降は、見守りが行動援護に引き継がれたため、居宅介護においては、家事援助などできないことを補うサービスという側面が強くなった。

介護保険統合との関係、初老期認知症の精神保健対策、老人保健領域で確認された精神疾患のある在宅老人問題など、老人保健と精神保健の交錯する部分の分析は、今後の課題とする。

参考文献: ◆三田優子(みた・ゆうこ)・平直子(たいら・なおこ)・岡伊織(おか・いおり), 2004,『心にとどくホームヘルプ』全国精神障害者家族会連合会。◆大島巖(おおしま・いわお)・平直子(たいら・なおこ)・岡上和雄(おかがみ・かずお), 2001,『精神障害者のホームヘルプサービス——そのニーズと展望』中央法規。◆精神保健福祉研究会, 2000,『我が国の精神保健福祉——平成12年度版』。◆精神保健福祉研究会, 2001,『我が国の精神保健福祉——平成13年度版』。◆精神保健福祉研究会, 2002,『我が国の精神保健福祉——平成14年度版』。